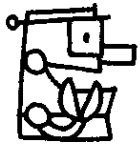




小 / 理科 / 6年 / 地球と宇宙 /
星の動き / 理解シート

どうして星が、見えるの



うちゅう

宇宙は暗いので、太陽の光がない夜には、自分で強い光を出している星が見えるのさ。

日本人宇宙飛行士の向井千秋さんが、スペースシャトル ディスカバリー号に乗ったときのニュースで、宇宙から見える地球や宇宙の光景がテレビにうつし出されました。そのときの宇宙は、夜空のように真っ暗で、青く光った地球や、光っている星が見えました。地球上で、昼間星が見えないのは、太陽の光が強いため、星の光は見えなくなっているだけです。星はいつも光っていて、暗くなりさえすれば見えるのです。じつは、地球は太陽の近くにあるため、太陽の強い熱や光を感じますが、太陽も、宇宙の遠くから見れば、光っているふつうの星の一つなのです。

うちゅう

宇宙には、見えない星もたくさんある

地球と同じように、太陽の近くにある金星、火星、木星、土星などの星は、太陽の光を反射して光っている星です（どれも、太陽の周りを回っている星で、わく星とよばれる）。火星から地球を見たとしたら、やはり、地球は太陽の光を反射して光る星の一つに見えるはずですが、これらのわく星は、遠くからは、光が弱くて、見えません。

空に見える星のほとんどは、太陽のように高温で、自分から強い光を出している星です（これらは、こう星とよばれる）。また、太陽のように、まわりにわく星をもった星がたくさんあるといわれていますが、よほど近くにいかないかぎり、わく星は見えません。

今では、電波で星を探る方法もさかんで、光は弱くても強い電波を出している星が、たくさん新しく発見されています。



巨大な天体望遠鏡で見た空は、
光の弱い星も見えるので、星だらけだね。